

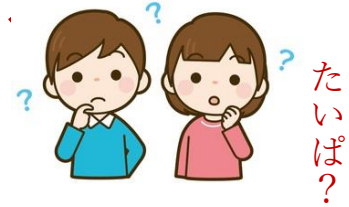
育世子屋NEWS

2023. 3. 1

(お子さんが大人になったとき、社会で活躍できるヒントがいっぱい)

皆さん「タイパ」ってご存じですか

～勉強は「タイパ」重視になると・・・～



国語辞典などで知られる三省堂が発表した「今年の新語 2022」の大賞に『タイパ』が選ばれましたが、皆さんはこの言葉をご存じですか？

タイパとはタイムパフォーマンスの略なのですが、『費やした時間に対する満足度』のこととされ、例えばタイパを求めるために音楽のサビだけ聞いたり、動画を倍速で視聴したりすることが挙げられます。

「最近タイパ重視の時代を実感している。」

ただ、『愛おしい無駄』から得られる気づきもあると思います」

そう語るのは京都大学卒の音楽プロデューサー、ヒヤダイン氏。

時代の流れを読みながらヒット曲を世に送り出している彼は、今の時代の流れをどのように感じているのでしょうか？

すぐに答えを求めるのはもったいない

ヒヤダイン氏はあるインタビューでこのように話しています。

「今の時代のメリットは、見たいMV (music video) があればすぐ見られるし、聞きたい曲があればすぐ聞けることです。昔だったらレコードやCDを買わないといけなかったし、MVも何らかの専用チャンネルでないと見られなかった。今はありえないくらいのエンタメの量で選択肢が増えています。

ただ、ショート動画とかTikTokなどで、短時間で視聴することでエンタメの摂取量は増えますよね。しかもSNS側からどんどんコンテンツを提案してくれる。それはありがたいなと思います。ショート動画とかTikTokのメリットだと感じますね。

逆にデメリットで言うと『印象に残りにくい』ということです。昔ほど一つ一つのコンテンツがちゃんと入ってこなくなったというか、消費もその分早くなる感じがします。」

そんな時代の変化を受け、作品作りにも影響があるそうです。

「TikTok やショート動画などの台頭で、短いサウンドでいかに印象付けるかということがこれまで以上に問われるようになっていきます。

私が以前投稿していた『ニコニコ動画』もイントロが長かったり、サビまで時間があつたりすると、コメント数が少なかったり、再生数が伸びなかったりしていたんです。でも、最初から起爆剤になるようなものをポンと置くと、いきなりバーンとコメントが盛り上がるんですよ。

これはやはりネット文化の影響が大きいと思います。ネットってわからないことも調べたら5秒くらいですぐに答えがわかります。インスタントに答えが分かることに慣れすぎているので、答えが先延ばしになることが我慢ならないのかな・・ということは感じます。

もともと長文を読む能力があるのに短いものに慣れすぎて、新たな世代のデジタルネイティブの人たちの長文を読む能力を失わせているとしたら、非常に問題だと思います。そういった部分が日常生活のあらゆるところに出てしまったらもったいない気がしますね。」

無駄なものには「気づき」がある

インタビューの後半ではこのようなことを仰っていました。

「最近『愛おしい無駄』っていっぱいあるなと本当に思うんです。無駄って愛おしいところがいっぱいあるんですよ。わざわざ何時間もかけて見られるかどうか分からないオーロラを見るために旅行に行くとか、何時間もかけて友達に会いに行つてすぐ帰るとか。

そういう無駄なものって結構気づきがあって楽しいと思いますし、そこから摂取できる栄養があるんじゃないかなと思うんです。それが老害と言われたら返す言葉がないんですけど。

多分、タイパ重視の方がこの話を聞いたら、「無駄じゃん」「楽しくないじゃん」となると思うんですが、僕は全然無駄とは思わないです。結果主義は本当にもったいないと思っちゃいますね。」

※Yahoo! ニュース Voice 参照

勉強の「タイパ重視」は危険

ヒヤダイン氏のインタビューを読み、仰っていることはまさに勉強面（生活面）でも同じことが言えると感じました。

私たちの指導理念は「社会に出てから困らない子を育てる」ことに重きを置いています。当然塾なので成績向上を目指すのは言うまでもありませんが、勉強を通して人間的な成長も伴わなければ意味がないと考えています。

私は人間的成長には先述の「愛おしい無駄」が大いに役立つと感じています。

例えば中学生なら年に4~5回定期試験がありますが、「タイパ重視」を求めれば、塾側が徹底的に無駄をそぎ落としたテキストなり授業を用意し、それを試験前に重点的に取り組めば生徒は実力以上の点を取ることが比較的簡単だと思います。

・ ・ ・ただそんなことを繰り返せば、生徒たちは、
「どうせ試験前になったら塾がいつもの用意してくれるから、普段は勉強なんかしなくてもいいじゃん。テスト前だけもらったプリントをしっかりとやったらそこそこ点数が取れるもん。」
と考えるようになるのは簡単に想像できます。

中学生になると学校で学習計画を立てることがあると思いますが、
「最初は結果が伴わないこともあるなら、学習計画を立てても無駄じゃないの？」

という声が出てきそうですが、決して無駄ではありません。最初はどううまくいなくてもそれを繰り返していくうちに精度も増して、何よりも自分で自分のことが見えてくるのです。自分のことが見えてくれば、今後自ら計画を立てる時もより実現可能な計画を立てられるようになりますし、その経験は勉強面以外でも役立ってきます。

このように、何事も目先の「タイパ重視」で物事を見始めると、「愛おしい無駄」の先に手にできるものや成長をみすみす逃してしまうことになるのです。
(私はこのようなトライ&エラーをそもそも無駄だとは思っていませんが・ ・ ・)

またタイパ重視で無駄をそぎ落とし一夜漬けのように詰め込んだとしても、ヒヤダイン氏の仰っていたように印象に残りにくく、すぐ忘れてしまうのです。

一夜漬けも試験範囲が決まっている定期試験なら少しは効果がありますが、全既習範囲から問題が出題される入試では到底太刀打ちできません。結局、無駄を省いて実力もしっかり身に付く「タイパ重視の勉強」なんて存在しないのです。

恐らく生徒たちの中には「勉強がしんどい」「もっと楽しく勉強したい」と思っている子もいると思います。保護者さんにそう愚痴っている子もいるかもしれません。

当然普段の授業で指導はしていますが、最初から答えや解き方を教えるのではなく、まずは自分で解いてみてもらう。そしてわからないところはヒントを与え、自分で答えまでたどり着いてもらう。という流れで勉強をしてもらっています。そうすれば学習したことがより忘れにくく、定着するからなのです。

無駄をそぎ落とした授業よりは一見非効率的に見えるかもしれませんが、結局はこのやり方が一番タイパの良い勉強法だと確信しています。

生徒たちにもこの「愛おしい無駄」を理解してもらえよう、指導に努めます。

それは本当に無駄？意味は無い??

最近は何かと「効率」という言葉をよく耳にしますが、本当に効率が良い
というのは「無駄が全くない」ということでしょうか？

人が成長するためには、無駄から学ぶことも大切

皆さんは「効率が良い」と聞くとどんなイメージを持ちますか？恐らく
失敗しない・無駄がない・・・そのようなイメージではないですか？

確かにそれは間違いでは無いのですが、人は失敗や無駄を経験しなければ
あまり成長できません。

失敗したり、無駄だったな・・・と感じる経験をすることで「次同じ間違い
をしないようにしよう」と考えられるようになるからです。

つまり無駄を経験することは、無駄ではないのです。

皆さんは行動に移すとき「失敗したら嫌だな」「無駄になったら嫌だな」
と感じると思います。ただそう考えると今度は積極的な行動ができなくな
ってしまいます。先ほど言いましたが、無駄は無駄ではありません。
ぜひ積極的に行動し、失敗や無駄を経験し、どんどん成長してください。



偉人の名言

「無駄なものには気づきがある。

だから無駄は無駄じゃない」

ヒヤダイン ～京都大学卒の音楽プロデューサー～

自分の部屋の目立つところに貼って、読み返すようにしましょう。